

在宅 で 生 き る

vol. 6

12月号

2014.12.1.Mon
練馬区 健康福祉事業本部
地域医療担当部地域医療課
医療連携担当係
TEL:03-5984-4673

特集 加速する在宅療養推進事業

◆ 在宅療養シンポジウム 開催レポート！

本紙10月号でお知らせした在宅療養シンポジウム「在宅で看取るということ」が、10月18日(土)、練馬区役所にて開催されました。当日は、81名もの区民の皆さまや医療介護関係者の方々にお集まりいただき、活気ある雰囲気になりました。

現場感覚溢れる講演に耳を傾ける聴講者



今回、演者としてご登壇いただいた、桜新町アーバンクリニック 院長 遠矢純一郎先生からは、「在宅医療とは何か？」についてご説明いただくとともに、在宅医療の現場感覚溢れるお話をいただき、在宅療養が「自分らしく生活できる生き方」につながるということをご説明いただきました。

また、患者家族対話推進協会 代表理事 宮崎詩子様のご講演では、在宅で療養するご家族の立場から、実際に看取りをした経験談を交え、「幸せな生き方をサポートすることの大切さ」をお話いただきました。

聴講者へのアンケートによると、90%以上の方々から満足できたというご回答をいただくことができました！さらに、85%の方々からは、シンポジウムをきっかけとして、在宅療養生活を将来の選択肢として考えられるようになった、とのご回答をいただきました。

これからも区民の皆様のお役に立つシンポジウムの開催を企画します。お楽しみに！

◆ 希望から現実へ。浸透し始めた在宅医療・介護連携

10月22日(水)、学識経験者や練馬区内の医療・介護関係者、介護者家族を構成員とした「第一回練馬区在宅療養推進協議会」を開催しました。

この日は、在宅療養推進に向けて詳細の検討を行っている「在宅療養専門部会」と「認知症専門部会」から、今年度上半期の活動成果と今後の目標が示され、活発な議論が行われました。

委員からは、「一步一步、在宅療養の取組みが浸透していることを実感している」、「医療・介護の連携が少しずつ進んでいる確かな感触がある」といった発言が多く上がり、これまでの活動が確実に浸透していることが確認できました。その反面、「ケアマネジャーの能力底上げのための研修は急務である」といった意見もあり、引き続き、様々な取組みを両専門部会で検討していくことが確認されました。

各専門部会での主な取組み（平成26年度）

| 在宅療養専門部会 | | | | |
|------------------|--------------------|--------------|-----|----|
| ねらい | 取組み | 取組状況(12/1時点) | | |
| | | 検討中 | 実施中 | 完了 |
| 多職種連携強化 | 事例検討会・多職種交流会の開催 | | | ○ |
| 多職種連携強化 | コーディネート能力向上研修の実施 | ○ | | |
| 病院・訪問看護師の連携強化 | 訪問看護出前講座・同行研修の実施 | | | ○ |
| 医師、患者・家族の負担軽減 | 後方支援病院の確保 | | ○ | |
| 区民への啓発 | 在宅療養シンポジウムの開催 | | | ○ |
| 区民への啓発・関係者への情報提供 | 情報誌「在宅で生きる」の発行(毎月) | | ○ | |
| 区民への啓発 | 区民啓発リーフレットの発行 | ○ | | |

| 認知症専門部会 | | | | |
|---------------|--------------------|--------------|-----|----|
| ねらい | 取組み | 取組状況(12/1時点) | | |
| | | 検討中 | 実施中 | 完了 |
| 多職種連携強化 | 医療・介護・家族の情報共有ツール作成 | ○ | | |
| 認知症の早期発見と早期対応 | 認知症相談事業の充実 | ○ | | |
| 区民への啓発 | 認知症フォーラムの開催 | | | ○ |
| 区民への啓発 | 認知症の人の生活モデルの紹介 | ○ | | |
| 区民への啓発・家族の支援 | 認知症チェックリストの活用 | | ○ | |
| 区民への啓発・家族の支援 | 認知症ガイドブック(ケアパス)の発行 | ○ | | |
| 家族の支援 | 認知症介護家族による電話相談の充実 | ○ | | |

◆ 進む、病院スタッフの協力体制

区内の病院スタッフが、訪問看護を始めとした在宅療養について理解を深め、在宅スタッフとの連携を円滑なものにすることを目的として、練馬区で活躍する訪問看護師による出前講座と、訪問看護活動への同行研修を実施しました。

今回は、浩生会スズキ病院・島村記念病院・練馬光が丘病院・順天堂大学練馬病院の看護スタッフ等が講座・研修を受け、病院と在宅現場での看護業務内容の違いや、その難しさ、求められる連携方法について詳しく学び、実践的な理解を深めることができました。

